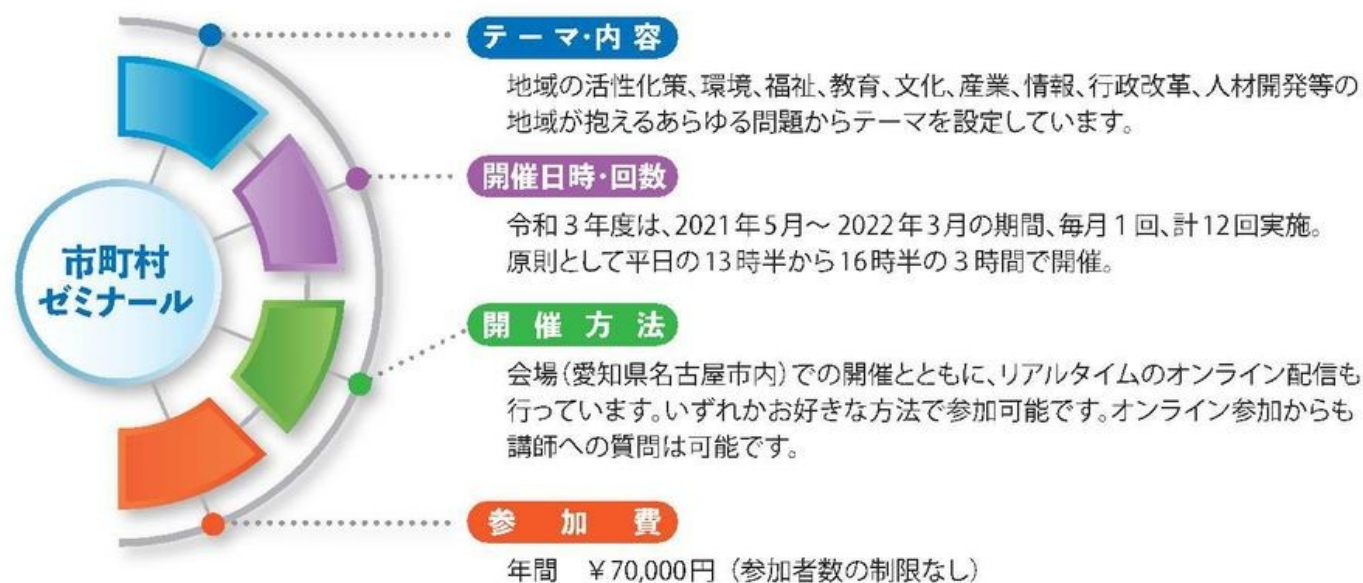


## 行政関係者向け研修プログラム『市町村ゼミナール』の概要

行政関係者向けの研修プログラム『市町村ゼミナール』は、創設以来約50年間にわたり毎月開催しています。これは、自治体が直面している今日的課題をテーマとして挙げ、そのテーマにふさわしい専門家と先進自治体の担当者等を講師としてお招きし、講師と参加した自治体職員双方が自由に意見交換ができる実践的なセミナーです。

令和2年度からは、講座のオンライン配信もスタートし、全国の自治体向けにサービスを展開しています。本資料では、実績に裏付けられた低コストで質の高い研修プログラムについてご案内させていただきます。ぜひ一度、体験してみませんか？



## 市町村ゼミナールの……『5つのオススメポイント』

- ポイント1 一歩先の行政課題に対応した幅広い研修テーマ**  
地域に根差したコンサルティング業務を通じて、社会・経済環境の変化や、地域社会のニーズ、行政の課題などを的確に把握しテーマを設定。これからの現場に求められる情報やノウハウを提供します。
- ポイント2 様々な分野の第一線で活躍する優れた講師陣**  
約50年の地域づくりの実践を通じて培った豊富なネットワークを活かし、各分野の研究者や実践者など、全国で活躍する様々な分野のスペシャリストを講師として招聘します。
- ポイント3 「理論」と「実践モデル」の両面からの深い学び**  
様々な分野の専門家による講演（理論）とともに、先進的に取り組んでいる全国の自治体等の担当者による先進事例報告（実践モデル）もあり、現場に役立つ実践的なセミナーです。
- ポイント4 会場とオンラインのハイブリッド形式で開催**  
会場で講師の生の声をライブで聞く会場参加と、職場など好きな場所から気軽に受講できるオンライン参加、どちらの方法でもご参加頂くことが可能です。感染症予防対策の観点からも、安全安心に受講して頂けます。
- ポイント5 安価な年会費で多数の職員の研修が可能**  
お申し込み頂いた自治体の職員であれば、どなたでも参加できます。年間12回の講座について、各回の受講人数及び受講者に制限はございません。テーマに応じて興味関心をお持ちの職員の方々に、研修も兼ねて何人でもご自由にご参加頂けます。

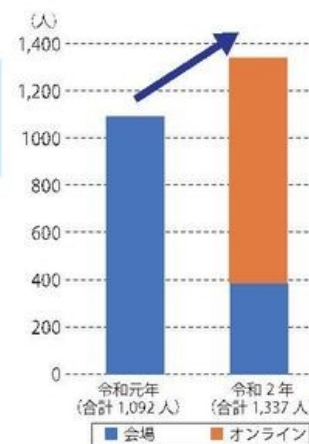
## コロナ禍にも関わらず……『オンライン配信』で参加者数が増加



令和2年度からスタートした「オンライン配信」は、職場からでも移動の時間やコストをかけず気軽に受講できると好評です。異なる部署から複数の端末でオンライン参加されるケースも増えており、前年度（令和元年）と比較して参加者数が2～3倍増、オンライン参加率が8割を超える自治体もみられます。

### 市町村ゼミナール年間受講者数（令和元年度・2年度）

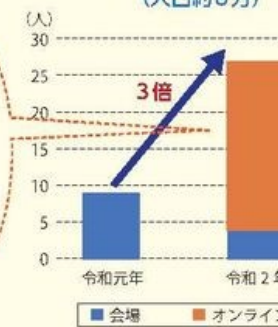
年間受講者数は前年比で**1.2倍に増加**。オンラインの割合が**約7割**を占めています。コロナ禍にも対応し、多くの自治体職員等の学びの場として活用されています。



### 例① 愛知県T市（人口約42万）



### 例② 愛知県G市（人口約8万）



### 受講者の声をご紹介します

#### 首長

神谷 明彦 さん  
（東浦町長）



市町村ゼミナールには町議会議員の頃から参加しており、指定管理者制度をテーマにしたものが当時の印象に残っています。その後も、その時々ホットなテーマについて勉強できるため、町長になるまで何度も参加させていただきました。

他の自治体の首長が登壇する講座では、その首長が描くビジョンや裏付けとなる事業と一緒に聞くことができるため、これからのまちづくりのヒントを得ることができ、非常に参考になります。

上司からの指示待ちではなく、課題を考えて解決に向けて行動できる自立した職員が増えることが理想と考えており、市町村ゼミで他都市の事例が聞けるのは、自分で施策を考えるネタが得られる良い機会だと思います。やはり、行政職員による現場のリアルな話は職員にとっても刺激になるし、参考になると思います。ゼミの後、講師や他の自治体の職員と交流できると、さらに充実したゼミになると期待しています。

#### 研究者

三浦 哲司 さん  
（名古屋市立大学大学院 人間文化研究科 准教授）



私は市町村ゼミナールへの参加を通じて、全国の自治体におけるまちづくりの最新動向を直に学ぶことができています。

毎回のゼミナールは、大学教員・自治体職員・コンサルタントなど、多様な立場の講師から直接、熱がこもった講義を聞くことができる場です。また、講義後の質疑応答では、内容についてさまざまな角度から、詳細をうかがうことも可能です。これらの内容は、私自身の研究に役立つのはもちろん、大学での授業準備の際にも、最先端の事例として、大変参考になります。業務・研究・教育へと幅広く活用できる本ゼミナールを、私は皆様に推奨したいです。

#### 行政職員

##### 愛知県（課長／50歳代）

市町村ゼミナールには、20年以上前から参加しています。その時々トピックスに合わせてテーマが設けられるため、テーマをチェックするだけで、時代の流れを追うことができると感じています。最近はオンラインでも聴講できるようになり、より参加しやすくなりました。地域の活性化やまちづくりには、様々な視点が必要なので、自分が担当するテーマ以外のものにも積極的に参加し、知見を広めていきたいと思います。

##### 名古屋市長（係長／40歳代）

SDGs、公民連携、コロナなど現在のトレンドから、防災、人材育成など従来から各自治体で抱えている課題に対して、先進的な取組をしている自治体、研究者、企業・団体で実践的に活動されている方など、講演内容や講師は多様であり、受講することで何らかのヒントを得られると考えています。全国共通の課題も多く、悩みを抱えている自治体職員に受講をお勧めします。

##### 栃木県真岡市長（係長／30歳代）

今年度、初めて参加させていただきました。コロナ禍で、オンラインでの視聴でしたが、今自分たちが直面している課題に対して、他の自治体が行っている内容や大学研究の事例、関係機関の事例を聞くことができました。関連部署の職員は、業務を行う上での考え方の参考にしたり、また、関連する部署以外の職員にとっては、広い視野を持って課題解決の糸口を学べる機会となり、とても勉強になっております。